

ご報告



平成26年度読書週間事業 金原瑞人さん講演会 翻訳の坎どころ 平成26年11月8日(土)

昨年11月8日(土)に翻訳家の金原瑞人氏をお迎えして講演会を開催し、10代の若い方から70代の方々まで106名の皆さんにお集まりいただきました。

金原氏は法政大学で教鞭を取るかわら、児童書やヤングアダルト向け作品他、一般書、ノンフィクションなど訳書は400点以上にものぼります。最近では日本の古典の現代語訳も始められました。当館では10月からコーナーを設け、金原氏が手がけた訳書やエッセイなどの著書を展示しましたが、とても並べきれないほどの作品数でした。

講演会は、『吾輩は猫である』は英語で何と訳すか?という問いから始まり、柔らかい語り口で事例を挙げながら、翻訳することの苦労話や楽しさを話されました。

中でも「I」をどう訳すか。キャラクターを決めてしまうこの一人称を訳すのは大変難しい。欧米の諺に『翻訳家は裏切り者』というのがある。異文化では、どうしてもニュアンスのずれが生じてしまうが、感動は伝わる。それを伝えることが翻訳家の使命である。」というお話や、ご自身のサンフランシスコやインドネシアでの体験を盛り込みながら、文化が違って感動や気持ちの通じるところがあるという興味深いお話に参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

時に笑いが起こる楽しいご講演で、質問コーナーではいくつもの質問が寄せられ、あっという間に終了時間となりました。

講演会のアンケートでは、「時間が足りない。もっと聞きたかった。」「翻訳本の見方が変わりました。さらに深く読書が楽しめそうです。」などたくさんのご感想をいただきました。

ご来場いただきました皆様、そして開催にご協力くださいました豊栄図書館応援団の皆様、ありがとうございました。



赤ちゃんタイムをはじめました！

- ★おはなし会を開催します。
- ★赤ちゃんはご持参の飲みものが飲めます。
- ★室内のぬいぐるみなどで遊べます。

お子さんと一緒に おはなしのへやで
休憩しやすくなりました。ぜひご利用ください。

おやこでたのしむ
おはなしのじかん
午前10時30分～
10時50分
対象：0～2歳児と
その保護者



読書会 子どもの本がおもしろい！

豊栄図書館では、隔月（奇数月）で読書会を開催しています。

1月に取り上げる本は・『ふたりはともだち』シリーズ4冊
アーノルド・ローベル／作、三木 卓／訳、岩波書店

なかよしのともだち、がまくんとかえるくん。
友情厚いふたりのやりとりを中心にした、短
編のお話集をシリーズ全4冊で楽しめます。

- *参加申し込みは必要ありません。
- *なるべく本をお読みになって、ご参加ください。

- 日時 1月13日（火）
午前10時30分～正午
- 場所 豊栄図書館 集会室にて

松浜図書館



赤ちゃん絵本コーナー

新しい書架が入り、
スペースも広くなりました。
新しい絵本コーナーで
ゆっくりと絵本をお選びください。



リニューアル!

古い雑誌をお分けします

今年も、松浜図書館の古い雑誌をお分けします。

- ◆ 日時：2月12日（木）～15日（日）の4日間
午前10時～午後7時
※ 土・日は午前10時～午後5時



『パン・ジャム・ミステリー
王女の赤い涙』

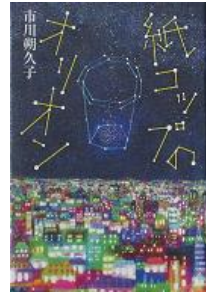
山田 りゅうこ／著, 幻冬舎ルネッサンス

探偵小説の主人公に憧れるダンは、友人レイと探偵事務所を作ります。しかし小さな町は平和で、入る依頼は行方不明の動物探し。そんな折、町を騒がす連続宝石窃盗事件が起こります。これぞ自分たちの求めていた事件！とばかりにはりきる少年たち。新たな仲間リサも加わって犯人を捕まえることができるのでしょうか。

(山本)



『紙コップのオリオン』

市川 朔久子／著
講談社

中学2年生の橘論里は母親と血の繋がらない父、妹の有里と4人暮らし。ある日突然、母が置き手紙を残し、いつ帰るともわからない旅に出てしまいます。戸惑いながら生活を続ける3人。そんな中、論里は創立記念行事の実行委員になってしまい、活動を始めますが、なかなかうまく進みません。母のブログをヒントにキャンドルナイトを提案しますが…。家族や友達のつながりの中で、一步一步成長していく中学生の姿を描いています。

(栗谷川)



絵本

『ゆきとトナカイのうた』

ボディル・ハグブリンク／作・絵
山内 清子／訳 ポプラ社

極地に住む人々の暮らしが、ひとりの少女の目で語られます。雄大で厳しい自然の中で、トナカイを生活の全ての糧として生きる人々の、なんとたくましく豊かな生き様でしょう。そして、目に鮮やかなその民族衣装の美しいこと！本国では30年以上も前に出版されたものです。チェルノブイリ原発事故以降、トナカイの主食・コケ類の放射能汚染など環境が大きく変わったため、現在は遊牧をあきらめた人々の定住化が進んでいます。(関)

児童書

『江戸のびっくり
省エネ生活
エコでござるー
江戸に学ぶ 1の巻』

凱風社／編, すずき出版



大江戸 100 万人が住む世界は、まさしく循環型の社会を実践したものでした。

太陽が昇ると働き沈むと寝る。エネルギーのほとんどが人力で、1・2 年前の太陽の恩恵で育てられたものを使い尽くす——現代からすれば驚きのリサイクル生活を、人々は不便と感ずることもなく送っていました。江戸時代には戻れませんが、学ぶべき“生き方”がそこにはあります。お父さん・お母さんとお子さんが一緒に読んで欲しい一冊です。

(樺澤)



蔵書点検に伴う 休館のお知らせ

ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。



	豊栄図書館	松浜図書館
蔵書点検による 休館期間	1月21日(水)～ 1月28日(水)	2月4日(水)～ 2月11日(水)
3週間貸出の期間	1月8日(木)～ 1月20日(火)	1月21日(水)～ 2月3日(火)

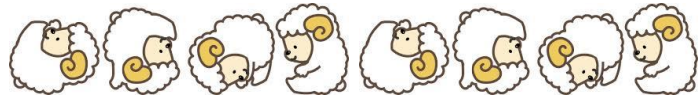
○休館期間中の返却は、ブックポストをご利用ください。

※AV(視聴覚)資料の返却はできません。

○休館期間中、電話による所蔵の確認、予約、貸出の延期、レファレンスはお受けできません。
開館している図書館にお願いいたします。

新潟市立中央図書館 TEL 025-246-7700

豊栄図書館



図書館の絵本の読み聞かせ講座(9月～12月 全7回)が終了しました。
講座で学んできたみなさんと、絵本の読み聞かせのおはなし会を開催します。
いっしょに絵本をたのしみましょう!

絵本の読み聞かせ講座 修了者による おはなし会

日時:1月31日(土)午後2時～3時

場所:豊栄図書館 集会室

対象:どなたでも

ぜひ おこしく下さい!

豊栄図書館キャラクター とよたん



編集・発行 : 新潟市立豊栄図書館

〒950-3323 新潟市北区東栄町 1-1-35 TEL:025-387-1123 FAX:025-384-6600

新潟市立松浜図書館

〒950-3126 新潟市北区松浜 1-7-1 TEL:025-387-1771 FAX:025-259-7331

発行日 : 2015年1月

ホームページ : <http://www.niigatacitylib.jp/>